

番号：130869

国名：モザンビーク

担当部署：農村開発部乾燥畑作地帯第一課

案件名：ザンベジア州ナンテ地区稲作生産性向上のための技術改善プロジェクト（チーフアドバイザー業務）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：チーフアドバイザー業務
- (2) 格付：2号
- (3) 業務の種類：専門家業務

### 2. 契約予定期間等：

- (1) 全体期間：2013年10月中旬から2015年1月中旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.30M/M、現地 9.00M/M、合計 9.30M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	第1次現地派遣	第2次現地派遣
3日	90日	90日
	第3次現地派遣	整理期間
	90日	3日

本業務においては3回の渡航により業務を実施することを想定しています。現地業務日程については「10. 特記事項（1）」をご参照の上、プロポーザルで提案してください。

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：正1部、写4部
- (2) 見積書提出部数：正1部、写1部
- (3) 提出期限：9月18日(12時まで)
- (4) 提出場所：調達部受付（JICA本部1F）

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針：
  - 1) 業務方針の的確性 6点
  - 2) 業務方法の整合性、現実性等 12点
  - 3) 当該業務実施上のバックアップ体制 2点
- (2) 業務従事者の経験能力等：
  - 1) 類似業務の経験 40点
  - 2) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域での業務経験 8点
  - 3) 語学力 16点
  - 4) その他学位、資格等 16点

(計100点)

類似業務	灌漑稲作に係る各種業務
対象国／類似地域	モザンビーク／全途上国
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：  
黄熱：入国に際してイエローカード（黄熱病予防接種証明書）が必要です。

### 6. 業務の背景

モザンビークは、80万km<sup>2</sup>（農地：18万km<sup>2</sup>）の国土に2,037万人（2007年、統計局）の人口を抱えており、就業人口の約8割は農業に従事している。

モザンビークにおいてコメの消費量は年々増加しており、近年は約50万t（精米ベース）となっ

ている。需要の高まりを受けて換金作物としてのコメの位置付けは高まっているものの、コメ生産面積は20.4万ha、生産量は26万t(平均収量1.27t/ha:2009年、粳ベース)に留まり、30万t以上のコメを輸入しており、食糧安全保障の観点から自給率向上が急務となっている。

こうした状況を受け、モザンビーク政府は同国内のコメ生産量の約半数を産出する稲作地域であるザンベジア州のポテンシャルを活用すべく、我が国及び熱帯での稲作栽培技術の経験を豊富に有するベトナムに対し同州ナンテ地区のインタボ灌漑区において、対象地域に適した灌漑稲作技術パッケージの開発・展示・普及と、インタボ灌漑区の灌漑施設維持管理能力を向上させ対象地域におけるコメの生産性及び生産量の向上を図るための支援を要請した。

我が国及びベトナム政府はこれに対し、プロジェクト全体のマネジメント、及び機材等については我が国が、稲作栽培技術に係る点についてはベトナムが専門家を派遣し、モザンビークを三角協力により支援することで合意し、2011年1月から2015年1月までの予定で協力を実施中である。

本案件の概要は以下のとおり。

#### <上位目標>

ザンベジア州マガンジャ・ダ・コスタ郡ナンテ地区の稲作の生産性と生産量が増加する。

#### <プロジェクト目標>

灌漑稲作技術の改良によってインタボ灌漑スキームの生産性と生産量が増加する。

#### <成果>

- (1) 改良灌漑稲作技術パッケージが開発される。
- (2) インタボ灌漑スキームにおいて水利組合の灌漑施設の操作・維持管理と営農支援活動に係る能力が改善される。
- (3) 改良灌漑稲作技術がインタボ灌漑スキームで普及される。

2013年7月まで派遣されたチーフアドバイザーの下、プロジェクトの各成果に向けた進捗概況は以下の通り。

成果1：圃場において、奨励品種1種を対象に栽植密度や施肥量に関する試験が実施され、適正な栽植密度と施肥レベルがほぼ特定された。

成果2：老朽化した灌漑施設の改修が、農民参加型の形で実施されている。また、プロジェクトが実施する研修への参加を通じて、水理組合の能力強化が進んだ。

成果3：稲作改善技術(種子の浸漬・催芽、苗床準備、畦づくり、圃場均平、田植え、灌漑施設管理など)に関する研修やセミナーの実施と、そのための教材、資料が作成された。

本専門家は、上記のプロジェクトの進捗を踏まえ、ベトナム人専門家の協力を受けつつ、プロジェクト目標達成のため、本プロジェクト全体の運営管理を担当する。

## 7. 業務の内容

本コンサルタントは、2011年1月から2013年7月まで3年次に渡って実施された協力を踏まえザンベジア州農業局(Provincial Directorate of Agriculture:DPA)をカウンター・パート(以下「C/P」機関)とし、チーフアドバイザーとしてプロジェクト全体の運営管理を行う。また、プロジェクトの他の協力機関である国立農業研究所(Agricultural Research Institute:IIAM)ザンベジア支所、ザンベジア州マガンジャ・ダ・コスタ郡庁、ザンベジア州マガンジャ・ダ・コスタ郡経済活動事務所(SDAE)に派遣するベトナム人専門家を通じた技術移転を支援する。

### (1) 国内準備期間(2013年10月中旬)

- 1) 本プロジェクト実施の背景及び概要を既存資料(PDM、詳細計画策定調査報告書、中間レビュー報告書等)から把握する。
- 2) JICAモザンビーク事務所及びJICA農村開発部と調整の上で、現地における業務内容を整理する。
- 3) 資料を分析し、課題を整理した上で、現地業務工程表を含む全体ワーク・プラン(和文・英文)を作成し、JICA農村開発部へ提出、説明する。

(2) 第1次現地派遣期間 (2013年10月中旬～2014年1月中旬)

- 1) 現地業務開始時にワーク・プラン(英文、和文)を基に、業務内容及び計画についてC/P機関及びJICAモザンビーク事務所に説明を行い、必要に応じて訂正し、業務内容・計画について了解を得る。
- 2) C/P機関、ベトナム人専門家、他プロジェクト関係者と協力し、プロジェクト全体の運営指導及び円滑な推進を行う。
- 3) ベトナム人専門家による以下の活動の円滑な実施をC/P機関との協議への参加やアドバイスを通じて支援する。
  - (ア) 試験圃場における改良稲作と種子生産技術にかかる試験・実証栽培の指導(特に移植法、圃場均平、施肥試験)。
  - (イ) 農民参加型灌漑施設改修技術の改善と、水利組合による適切な灌漑施設維持管理方法の開発。
  - (ウ) 改良灌漑稲作技術パッケージ展示圃場設置支援。
  - (エ) 普及員及び農家向け研修教材の改善とそれを用いた研修の実施。
- 4) 第1次現地業務結果報告書(英文)を作成し、JICAモザンビーク事務所及びC/Pに提出し、報告する。

(2) 第2次現地派遣期間 (2014年4月中旬～2014年7月中旬)

- 1) 現地業務開始時にワーク・プラン(英文、和文)を基に、業務内容及び計画についてC/P機関及びJICAモザンビーク事務所に説明を行い、必要に応じて訂正し、業務内容・計画について了解を得る。
- 2) C/P機関、ベトナム人専門家、他プロジェクト関係者と協力し、プロジェクト全体の運営指導及び円滑な推進を行う。
- 3) 2014年5月中旬に実施を予定している終了時評価調査への協力。
- 4) ベトナム人専門家による以下の活動の円滑な実施をC/P機関との協議への参加やアドバイスを通じて支援する。
  - (ア) 改良稲作と種子生産技術にかかる試験・実証栽培の結果に基づく、改良灌漑稲作技術パッケージ及び種子生産技術マニュアルの取り纏め。
  - (イ) インタボ灌漑地区の水利組合を対象とした灌漑施設管理及び営農支援活動改善にかかる研修実施。
  - (ウ) 施設維持管理技術マニュアルの策定。
  - (エ) 灌漑稲作技術に係る、モザンビーク国内を対象としたワークショップの首都マップトにおける実施。
- 5) 第2次現地業務結果報告書(英文)を作成し、JICAモザンビーク事務所及びC/Pに提出し、報告する。

(3) 第3次現地派遣期間 (2014年10月上旬～2014年12月下旬)

- 1) 現地業務開始時にワーク・プラン(英文、和文)を基に、業務内容及び計画についてC/P機関及びJICAモザンビーク事務所に説明を行い、必要に応じて訂正し、業務内容・計画について了解を得る。
- 2) C/P機関、他プロジェクト関係者と協力し、プロジェクト全体の運営指導及び円滑な推進を行う。なお、本現地派遣期間ではベトナム人専門家の現地派遣は行われず予定。
- 3) 第2次現地派遣期間までに確立した改良灌漑稲作技術パッケージ及び種子生産技術マニュアルにもとづく、C/P機関によるインタボ灌漑地区水利組合への研修実施に対し、現場での協議への参加やアドバイスを通じた支援の実施。
- 4) C/P機関によるインタボ灌漑地区水利組合への灌漑施設管理及び営農支援活動改善に係る研修実施に対し、現場での協議への参加やアドバイスを通じた支援の実施。
- 5) 第3次現地業務結果報告書(英文)を作成し、JICAモザンビーク事務所及びC/Pに提出し、報告する。

(4) 帰国後整理期間 (2015年1月上旬)

1) 専門家業務完了報告書 (和文) を作成し、監督職員に報告する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成・提出する報告書等は以下のとおり。なお、本契約における成果品は(3) 専門家業務完了報告書とする。

(1) ワーク・プラン (全体)

和文 2部 (JICA 農村開発部、JICA モザンビーク事務所)

英文 3部 (JICA 農村開発部、JICA モザンビーク事務所、C/P 機関)

(2) 現地業務結果報告書

和文要約 2部 (JICA 農村開発部、JICA モザンビーク事務所)

英文 3部 (JICA 農村開発部、JICA モザンビーク事務所、C/P 機関)

(3) 専門家業務完了報告書

和文 2部 (JICA 農村開発部、JICA モザンビーク事務所)

なお、上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データ (CD、写真データ等を含む) も併せて提出する。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。

留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます (見積書に計上して下さい)

## 10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

1) 現地業務日程

各現地派遣期間については上記7.に記載の期間を想定していますが、具体的な日程案についてはプロポーザルにおいて提案をしてください。契約前にJICAと合意の上で調整を行います。

2) 現地での業務体制

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです (本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています)。

- ・業務調整 (長期派遣専門家)
- ・稲栽培 (ベトナム人専門家、8MM)
- ・種子生産 (ベトナム人専門家、8MM)
- ・灌漑 (ベトナム人専門家、8MM)
- ・普及 (ベトナム人専門家、8MM)
- ・通訳/調整 (越-葡語、ベトナム人専門家、8MM)

便宜供与内容

プロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ① 空港送迎  
あり
- ② 宿舍手配  
あり
- ③ 車両借上げ  
必要な移動に係る車両の提供 (市外地域への移動を含む。)
- ④ 通訳備上  
なし

- ⑤ 現地日程のアレンジ  
プロジェクトチームが必要に応じアレンジします。
- ⑥ 執務スペースの提供  
マガンジャ・ダ・コスタ郡経済活動事務所内プロジェクトオフィスにおける執務スペース提供（インターネットは使用可能ですが、回線の状況が不安定な場合があります。）

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・ 詳細計画策定調査報告書

(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000255557.html>)

本業務に関する以下の資料を当機構農村開発部乾燥畑作地帯第一課（Tel:03-5226-8428）にて配布します。

- ・ 中間レビュー報告書（案）

(3) その他

- 1) 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上